



7億円追加

30億円追加

子どもや福祉最優先に!

7億円の追加必要なし

中央図書館移転に伴う エールエールA館の経営支援

広島市中央図書館の移転整備に伴うエールエールA館のフロアの買い取り費用として今年度と来年度合わせて約72億円支出することが明らかになりました。

これまで買い取り費用は65億円だと説明していましたが、7億円も上乗せされます。

中央図書館の建て替えについては、現地建て替えを求める市民の強い願いを無視して、エールエールA館への移転ありきで整備が進められてきました。

この移転整備は、経営の先行きが見通せない商業ビルに対する、市による経営支援の側面が指摘されています。

商業ビルを運営する南口開発株式会社は、65億円で経営再建する計画を示しており、貴重な市民の税金を使って7億円も追加支援する必要はありません。

30億円の増額

広島高速5号線連結路

設計やり直しの無駄づかい

高速2号線と5号線の連結路整備費



一般質問をおこなう

中村たかえ議員

(2023年9月21日)

市民の生活を支える積極的な予算を 市長に直接要望



物価高騰に苦しむ市民への支援など115項目の要望を市長に提出(10月3日)

167億円を30億円増額し、工期を4年間延長する事業計画の変更の同意を求める議案が提出されました。

地質調査の結果、支持層が2.5mも深い位置にあることが判明し、橋脚基礎形式の設計をやり直し、橋りょう上部・下部工の架設方法を見直すことになりました。

なぜ設計のやり直しが必要か質したところ「当初5号線の地質調査を流用して設計していたことが判明しました。これほど『ずさん』な話はありません。

市は、連結路整備によって交通量が2000台増える予想しています。しかし、国は地球温暖化対策としてマイカーから公共交通にシフトする施策を進めており、人口が減少するなか、5号線だけが交通量が増えるという根拠はありません。費用便益比も0.08下がり、1.02になります。不要不急の高速道路整備費の増額は認められません。

ジェンダー平等をリプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点で

(性と生殖に関する健康と権利…性や身体のことを)
自分で決め、守ることができる権利のこと

※生理の貧困解消に人権の視点を

市は、「本当に困っている人を支援につなぐために相談のうえで生理用品を提供している」と話します。しかし、生理用品の提供は、性と生殖の健康と権利の視点から、女性用トイレや多目的トイレでの無償提供が求められています。

2024年度には、災害備蓄用の生理用品2万9000個の交換時期が来ます。それらを活用し、女性用トイレや多目的トイレに設置することを求めました。

※児童・生徒にも生理休暇を

若者の団体による児童・生徒の「生理休暇」についてのアンケートでは、生理が辛くても、授業や学校を休めなかったという回答が多数を占めました。中には「プール授業を欠席した分、生理中に校庭を走ることを強制された」など深刻な実態があります。

市は、生理による体調不良等の欠席は、病気休暇として扱っています。中村議員は、成績や内申点に影響することを不安に思い休めない生徒に対し、公休扱いなどの仕組みを求めました。

学生と若者が希望を持てる経済支援を

学生や若者への支援として、全国で行われている独自の給付型奨学金や奨学金返済支援制度を、広島市も見習うべきだと求めました。

経済的理由で、学ぶことに不安を感じる学生を支える制度は、学生の豊かな学びを保障するだけでなく、若者の定住対策や雇用対策にもなると訴えました。

他都市の事例

- 富山県高岡市
市外から進学してきた学生が、卒業後高岡市に居住することを条件とした奨学金返済免除制度
- 札幌市など
圏域内に本社がある企業に就職した若者を対象とした奨学金返済支援制度

アメリカと勝手に調印は許されない パールハーバー国立記念施設との姉妹公園協定

広島市の平和記念公園とアメリカ政府が運営するハワイ真珠湾のパールハーバー国立記念施設との姉妹公園協定が、6月29日にアメリカ大使館で、松井市長とエマニエル駐日大使によって調印されました。

協定を結ぶことが発表されたのはわずか1週間前の6月22日。市民にも市議会にも相談することなく市長の独断で調印したものです。

9月21日の本会議で、アメリカ政府が、人道に反する原爆投下

を行ったことを、今なお正当化していることについて、「棚上げ」にして調印したと答弁したことは重大な問題です。

しかし、アメリカという国の核兵器保有と核抑止論は、広島と長崎への原爆投下を正当化し続けていることと表裏一体です。反省がないからこそ核兵器に固執しています。アメリカの、核兵器にしがみつく態度をやめさせるためには「棚上げ」にしてはなりません。

また、原爆で焼かれた街を復



10年後に白血病で亡くなった佐々木禎子さんがモデルの像

興させ、被爆者援護と核兵器廃絶の運動を進めてきたのは被爆者であり市民です。その象徴が平和記念公園です。被爆者・市民にも市議会にも相談せず、市長が勝手にアメリカ政府と調印したことは、絶対に許されることではありません。

日本共産党市議団は、協定の破棄・撤回を求めました。

総務委員会



中森辰一(西区)
TEL293-3563

災害で住宅をなくした後の 更地の固定資産税は軽減延長を

土砂災害特別警戒区域内で、災害で住宅を失った方は、他の地域で新たな住宅に住んでも、更地にした跡地を売ることもできないまま、使えない土地の固定資産税を納めています。二重の負担になっている固定資産税の軽減期間の延長を求めました。

後出しで事業費を増やす 中央図書館等の移転整備

エールエールA館のフロアの買い取り費用が7億円も増えた問題で、A館は、市が実質的に保有するビルであり、65億円で経営立て直しをしようとしていることを指摘し、増額は認められないと批判しました。

勝手なパールハーバー国立記念施設との協定調印

松井市長の独断専行を徹底批判しました(詳細は表面)。

厚生委員会



中村たかえ(安佐南区)
TEL847-0170

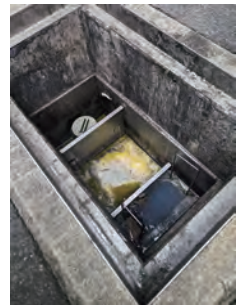
保育園での職員死亡事故

安全に働ける職場環境へ改善を

今年8月に起こった市立保育園での調理員の死亡事故について質しました。今回の事故は、グリストラップ(排水の生ごみや油脂を除去する設備)を一人で清掃しているなか起こりました。以前から、現場の調理員などから危険な作業であることが指摘されていました。

市は、今回の事故を受け、複数体制や吸着シートの使用、設備の改善などの安全対策を講じているとしています。しかし、人員配置などによっては、複数体制で作業をすることは困難です。民間保育園のように業者に清掃を任せよう求めました。

市は、今後の状況を見て、業者清掃の回数を増やすことも検討すると答弁しました。



地面に埋め込まれた
グリストラップ

消防上下水道委員会



清水ていこ(安佐北区)
TEL819-2468

国はダムに頼らない治水を 検討せよ

日本では、ダムに頼り流域の堤防の改善などをおろそかにする傾向があります。

国が、安芸太田町にダム計画を推進し、安芸太田町長が「水害が多発する中で、下流域の安全を考えて、断腸の思いで受け入れる」と表明しました。

ダム事業は環境への影響が大きいうえ、費用も巨額にのびります。広島市民を水害から守るためには、コンクリートダムだけに頼らず、堤防のかさ上げや排水ポンプの増設などに積極的に取り組むべきと意見を述べました。

河川整備の主体は国と県ですが、住民からは河川の改修をしてほしいという声がでています。市は県に対して抜本的に河川予算を増やすよう強く求めるべきです。

文教委員会



大西オサム(中区)
TEL221-0708

放課後児童クラブ

指導員の欠員解消を急げ

4月から有料化された放課後児童クラブは指導員の欠員状態が慢性化しています。今年度は50人を超える高齢の再雇用者で欠員を補っています。再雇用者がいなければ120人を超える欠員となります。正職員化など、抜本的な処遇改善なしには欠員は解消できません。指導員が働きつづけられる待遇にせよと迫りました。

全児童館の緊急点検を

老朽化で傷んだ児童館が問題になっています。外遊び場所のフェンスが倒れかかっていたり、壁に何か所も穴が開いた部屋もあります。さらに、43館では遊戯室にエアコンがなく、夏休みは暑すぎて子どもたちが遊べませんでした。ただちに改善するために、放課後児童クラブを含めた全児童館の現場に足を運び、緊急点検をしよう求めました。市は、早期に解決しますと答弁しました。



倒れかかった
フェンス

経済観光環境委員会



藤本さとし(佐伯区)
TEL929-8363

新中央市場整備事業

またも「にぎわい」で巨大投資!?

広島市中央卸売市場の建て替えの事業計画の承認が求められました。老朽化による建て替えは必要なことですが、近年、流通の多様化の中で市場取扱量は縮小の一途です。しかし、提出された建て替え案は、新たなにぎわいの場として518億円もの巨費を投じる計画です。

新市場の建設では、流通環境の変化を的確につかみ、安心・安全に生鮮食料品等を安定的に供給する役割を果たすために、必要な規模で整備すべきと迫りました。

土砂埋立地からのにごった水の規制強化

佐伯区五日市町上小深川で建設残土が埋め立てられ、処分場前のため池から流れ出る水(写真)は赤茶色に濁っています。産廃業者に水質検査とその結果の地域住民への公表を義務づけるよう求めました。



建設委員会



中原ひろみ(南区)
TEL890-2266

広島駅南口駐輪場

屋根がない仮設でも料金値上げにぎわいの犠牲にしないで!

松原町の広島駅南口第二自転車等駐輪場は、にぎわいの場を創出するとし、キッチンカーに営業の場を提供することになり、2022年に対岸の京橋町へ移設。2025年まで仮設駐輪場(写真)として活用します。

利用者の「以前は駐輪場に屋根があったが、仮設には屋根がないため雨や木の葉、ハトの糞の被害にあっている。屋根をつけてほしい」という声を紹介し対策を求めました。

2022年度からサービス向上を目的に登録利用料金を月300円値上げしたにもかかわらず、屋根がなくなったのでは、不満を感じるのは当たり前だと指摘。

「仮設」だからと不便を強いるのではなく、なんらかの対応を早期に検討するよう求めました。

市は指定管理者と対応を検討すると約束しました。

